

皆様、ゴールデンウィークいかがお過ごしだったでしょうか？今年は天気にも恵まれそこそこのお出かけ日和ではなかったのではないのでしょうか？

個人的には、日帰り友人とバイクで富士山に登ったのですが、残雪が4合目付近から有り、ここはまだ冬から春への変り目だと身を持って感じたゴールデンウィークでした。余談ですが、5合目にしか売っていない富士山の形をしたメロンパン、お勧めです。

鉄相場

鉄相場ですが、例年2～3月頃からゴールデンウィークに向け相場が上がっているのですが、今年は東京製鉄を除く他の電炉のみが3月下旬に入りやっと相場を上げてきました。ただ上げ幅は限定的となり、東京製鉄を除く電炉が数回の上げに対し東京製鉄は1回のみとなっています。ゴールデンウィーク中は集中生産をするはずが、今年は生産を行わない電炉等もあり、この事が今年のこの時期のスクラップの上げにつながらない理由かもしれません。

リーマンショック後、世界の国々の努力により徐々に持ち直してきた感があったのですが、ここに来て、ちょっと流れが変わり出してきたのでは？という雰囲気が広まり初めて来ている様に感じています。まずは中国の減速があります。中国の経済成

長率が下がり始めてきた事が挙げられます。それにも係わらず、粗鋼生産は伸び続け、国内で消費できない半製品・製品は世界に放出され、これが各国の粗鋼生産にも悪影響を及ぼし始めています。中国は電炉比率が低く高炉でもスクラップの使用比率が低い為あまりスクラップを使用していません。以前の様に中国向けスクラップはほとんど無くなり、雑品に含まれる鉄分と中国国内発生スクラップで充分すぎる状況となっています。韓国は、この中国の安い製品流入プラス、韓国の輸出先にもこの安い中国材が入り始めている上、かつての日本の様に通貨高で苦しんでいます。スクラップのもう一つの輸入国であるトルコも生産量が落ちています。これはトルコの輸出先での問題でしばらく解決できる雰囲気にはありません。更に好調なアメリカ経済にも若干の陰りが出始めてきています。色々な製品の輸出先として中国の存在があります。その中国が先に書いた様に経済が失速し始めています。改めて世界は一つの経済圏になりつつある感がします。経済的に見ると、決して楽観できるまで世界は回復していないと思われます。そうなりますと、スクラップの出番も減り今後相場が上がり続ける状況は起きにくいと予想されます。直近は、今の価格から下がるのか？という事ですが、原油価格が若干上げ戻し始めている為、この流れが続くようであれば、弱含み横這いからお盆前後から上げ相場に移行するものと思われます。原油が下がり続ける流れに戻りますと、やはりこの先下げやすい環境になるのではないのでしょうか？オリンピック景気がとられるでしょうが、日本に於いては過去の産物であまり期待しない方がいいかもしれません。

コラム

米国が世界の警察の役目に及び腰になってから、中国を始め、大小様々ないざこざが増えてきています。これが紛争の火種とも言えます。黒人初のアメリカ大統領、この次に女性初のアメリカ大統領の場合にはどうなりますことやら・・・。